

ホワイトボードアプリ上で、スピーディーかつ活性化した話し合い

<期待される効果>

【児童・生徒】○共同編集機能により、話し合いへのハードルが下がり、抵抗感なく主体的に学習に取り組むことができる。

【教師】○模造紙等の準備が不要で、時間的・空間的な制約がなくなるため多様な意見を知り、幅広い視点を獲得させやすい。

<学習場面>

発表や話し合い
(協働学習)



<機能・ツール>

【協働】

M365 : Onenote

Google : GoogleJamboard

ロイロ : シンキングツール

ミライシード : ムーブノート

<モデル事例>

○一つのテーマについて意見を皆でたくさん出す。

○グループの意見をまとめて座標軸に置き、それらを動かしながら考えを整理をする。

○整理したのを見ながら、その場で考えて議論する。

○整理して考えてことをそのまま発表の資料として使う。

<ポイント>

○資料作りや考えて話す場面において、紙よりも手軽に素早くできる。

○話し合いにおける思考を可視化して表現しやすい。

<注意点>

○同じ編集でもOnenoteやGoogleJamboardは一齐に編集する、ロイロシンキングツールは作ったものを持ち寄って連ねるなど、アプリによりできることが若干異なる。指導者側の使い分けが必要である。



<ハッシュタグ>

#初級 #共同編集 #協働学習 #話し合い #思考力・判断力・表現力等 #視覚化 #資料作成

クラウドのファイル共有機能で、他者と比較しながら自分の表現に磨きをかける

<期待される効果>

【児童・生徒】○他者の作品と比較しながらより良い表現を模索できるため、前向きに取り組むことができる。

【教師】○児童・生徒の作品を直接ファイル共有することで、多様な視点で自他の作品を比較する時間が確保できる。

<学習場面>

表現や制作
(個別学習)



<機能・ツール>

【共有】

M365：Teamsファイル
(word、Excel、PowerPoint)

Google：Googleドライブ
(ドキュメント、スライド、スプレッドシート)

ロイロ：資料箱、提出箱

ミライシード：オクリンク

<モデル事例>

○個別作業時に、他者と自分の作品の比較をしたり、評価したりして作品をより良くしていく。

○個別作業で、文字や映像を組み合わせるリーフレットなどの資料を制作する。

○一つのプレゼン資料を作業分担して、同時編集するなどして効率的に作業をする。

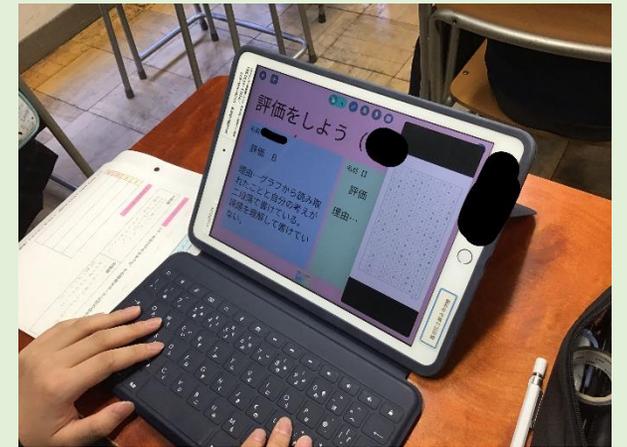
○誰がどの部分を作り、いつ編集したかが分かるアプリもあるため、進捗を把握ができる。

<ポイント>

○他者の作品を見て、自分に活かすことができたり、
分担して効率よく作業をしたりするときに有効である。

<注意点>

○アプリによっては全員が同時に画面の共有や編集などを、
できない場合もある。



<ハッシュタグ>

#中級 #対話的 #ファイル共有 #評価 #共同編集 #資料作成 #協働学習

写真や動画で制作過程を振り返りながら、よりよい作品をつくる

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を作成過程で自分の活動をメタ認知し、今後の見通しを立てることで、自己調整力が身に付く。

【教師】○作成過程も含めて記録に残すことができるので、主体的に学習に取り組む態度の評価につなげやすい。

<学習場面>

思考を深める学習
(個別学習)



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365: Teamsファイル

Google: Googleドライブ

ロイロ: 資料箱、提出箱

ミライ: ムーブノート

<モデル事例>

○紙のノートを撮影し、日付ごとの記録を取り、成長過程を把握する。

○作成物を撮影して教員に提出し、途中経過の報告と改善のためのアドバイスをもらう。

○作成物を撮影して書き込みをし、試行錯誤しながら、今後どのように作り上げていくかを考え、調整する。

○自分の発表や音読を撮影し、繰り返し視聴して練習する。

<ポイント>

○ミライシードやキュビナ等のデジタル教材と共に活用することも有効である。

○記録として残すだけでなく、次に繋げるための撮影をする。

<注意点>

○授業時に勝手に他人を撮影したり、他人の作品を盗作したりしないように情報モラルの観点から指導することが必要である。



<ハッシュタグ>

#初級 #撮影機能 #対話 #ファイルの蓄積 #発表 #思考力・判断力・表現力等

オンライン会議ツールで、離れた場所でも会議や交流活動をする

<期待される効果>

【児童・生徒】○離れた場所にいる人との交流を行うことで、交流に対する意欲が高まる。

【教師】○児童・生徒の移動時間を削減やペーパーレスにより、効率的な活動が行える。

<学習場面>

発表や話し合い
(協働学習)



<機能・ツール>

【会議】

M365: Teams会議
Google: Google Meet
その他: zoom、webex

<モデル事例> 生徒総会・朝礼等

○議案書をロイロノート上で作成し、全校で画面上で共有する。

○発表者のみ集まり、質問者のやりとりは離れた場所からオンラインで行う。

○離れた場所からでも会議に参加できる実感を持ち、社会に出たときに、より主体的にオンライン活用しようとする姿勢へとつなげることができる。

<ポイント>

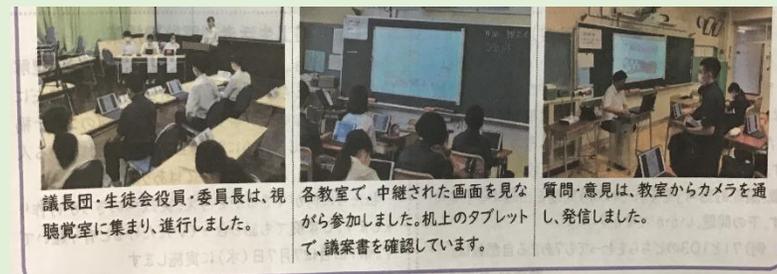
○発表の様子を記録し、あとから確認することができる。

○家庭からも参加することができる。

<注意点>

○発表者が発表している状況を把握するために、端末を2台用意する方がよい場面がある。

○音声の質がマイクによってかなり左右される。



<ハッシュタグ>

#上級 #オンライン会議 #特別活動 #発表 #主体的 #対話的 #ペーパーレス

共有ノート機能による話し合い活動で、思考を深める

<期待される効果>

- 【児童・生徒】○オンライン上でお互いの考えを共有しながら、意見を出すことができるので思考が深まりやすい。
- 【教師】○進んで発言することが難しい児童・生徒の意見を取り入れながら話し合いを進めることができる。

<学習場面>

協働での意見整理
(協働学習)



<機能・ツール>

【共有】

- M365 : Teamsファイル (word、Excel、PowerPoint)
- Google: Googleドライブ (ドキュメント、スライド、スプレッドシート)
- ロイロ : 提出箱、資料箱
- ミライシード : オクリンク

<モデル事例>

(学習支援クラウド活用の概要)

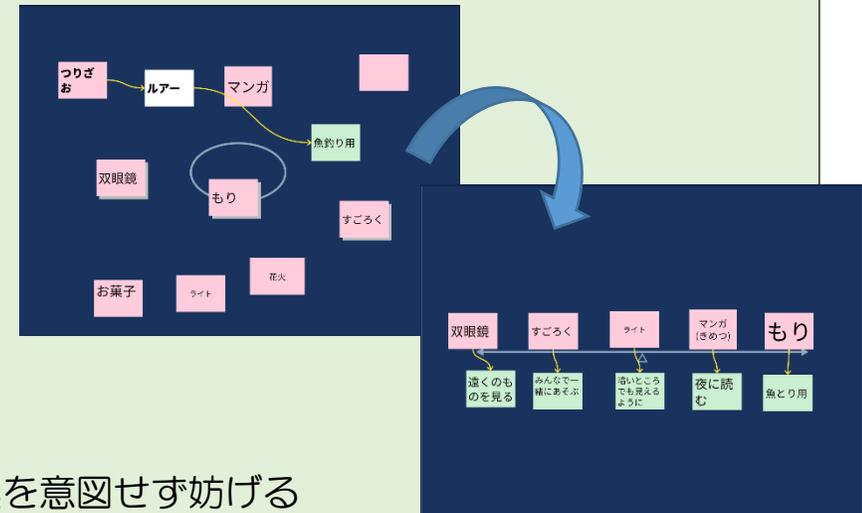
- ①話題を確かめ、ロイロノートの共有ノートを使って意見を出し合う。
- ②グループで共通する事項で分類して整理する。
- ③グループで整理した内容をまとめる。
- ④各グループの話し合いの結果を発表する。

<ポイント>

- 各グループごとに共有ノートを作成し、編集をしやすいようにする。

<注意点>

- ・同時編集を行うので、慣れないうちは友達の編集を意図せず妨げるといったトラブルが予想される。



<ハッシュタグ>

#中級 #共同編集 #協働学習 #話し合い #対話的

アンケート機能で振り返りを見える化し、学習の成果を客観的に把握する

<期待される効果>

【児童・生徒】○振り返りを蓄積することで、単元や学期を通して自分の成長を把握することができる。

【教師】○単元終了後に毎回の授業を集計したりグラフ化したりすることで、授業改善に生かすことができる。

<学習場面>

思考を深める学習
(個別学習)



<機能・ツール>

【調査】

M365: Forms

Google: フォーム

ロイロ: アンケートカード

ミライ: ムーブノート (集計)

【共有】

M365: Teamsファイル

Google: Google ドライブ

ロイロ: アンケート

ミライシード: オクリンク

<モデル事例>

(学習支援クラウド活用の概要)

- 授業の振り返りをロイロノートのアンケート機能を使って実施する。
- 教員は、毎時間のデータをExcelにダウンロードし、グラフ化する。

<ポイント>

- 毎時間の振り返りを蓄積する中で、数値の低い児童・生徒に着目して次時の授業に形成的な支援を行うことで学びを深めることができる。
- 学級全体の数値を平均することで学級全体の学習到達度や学習の理解を把握することができる。

<注意点>

- 体育の授業の振り返りをタブレットで行うので、タブレットの持ち運びや管理等を配慮する必要がある。



<ハッシュタグ>

#上級 #振り返り #アンケート機能 #ファイルの蓄積 #評価

授業の導入時に、アンケート機能で学級の傾向を見える化し、学習意欲を高める

<期待される効果>

【児童・生徒】○事前にアンケート調査を行うことで授業に対する関心を高めることができる。

【教師】○効率的にアンケートを行うことで、考えたり話し合ったりする時間をより多く確保できる。

<学習場面>

調査活動（個別学習）



<機能・ツール>

【調査】

M365 : Forms

Google: フォーム

ロイロ: アンケートカード

ミライシード: ムーブノート
(集計)

<モデル事例>

(学習支援クラウド活用の概要)

- ①アンケートを前日までに児童・生徒のタブレットに送信し、当日までにアンケートに回答してもらう。
- ②自動的にグラフ化されるので、それを資料として児童・生徒に提示する。
- ③グラフを基に、学習問題を解決していく。

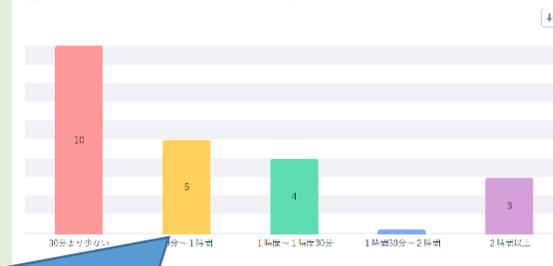
<ポイント>

- 一人一人がどのような回答をしたかが、記録として残るため、事後の変容も見取ることができる。

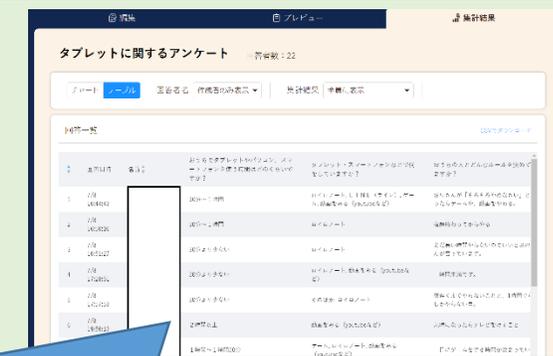
<注意点>

- 回答後に友達の考えを見て、回答を変える児童・生徒がいることに注意する必要がある。

01 おうちでタブレットやパソコン、スマートフォンを使う時間はどのくらいですか？



事前にアンケートを実施。それぞれの端末の利用時間についてグラフ化した。



事前アンケートの回答状況を踏まえながら事後の指導を行うことができる。

<ハッシュタグ>

#初級 #アンケート機能 #個別学習 #可視化 #事前学習 #学びに向かう力、人間性等 #評価 #事後学習

思考ツールを使って自分の考えをまとめる

<期待される効果>

【児童・生徒】○思考ツールを使うことで、自分の考えを整理してまとめることができる。

【教師】○様々な場面でツールを応用して使うことで、思考を深めさせることができる。

<学習場面>

個に応じた学習（個別学習）



<機能・ツール>

【投稿】

M365：Teams投稿

Google：classroom

ロイロ：タイムライン

<モデル事例>

（学習支援クラウド活用の概要）

- ①学習支援クラウドを通してポスターの資料を全体に共有する。（共有機能）
- ②思考ツールを基に、自分の考えをまとめる。
- ③一人一人のシートを共有し、考えを広げたり深めたりする。

<ポイント>

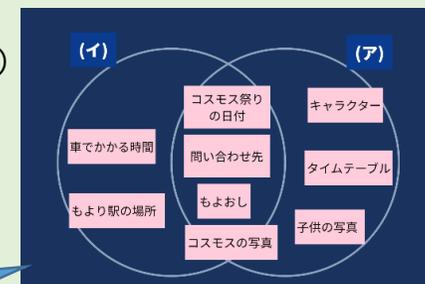
○情報の分類は指で操作するだけに制限するなど、発達段階を考慮して思考ツールを使わせることができる。

○共有する際、匿名にすることも可能。

○シートのカラーを工夫することにより、多様な使い方ができる。

<注意点>

○考えを形成できない児童・生徒に対する配慮や個別指導が必要である。



思考ツールを使って2枚のポスターを比べ、両方に共通する情報やそれぞれにしかない情報を読み取りまとめていく。



1人1人が考えたシートを共有する。友達の考えを見て自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

<ハッシュタグ>

#初級 #発表 #個別学習 #投稿 #ファイル共有 #協働学習 #特別支援

写真や動画を使用して、発表資料を分かりやすくまとめる

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を提示することで、言葉では伝えづらい情報を説明しやすくできる。

【教師】○学習履歴を蓄積することで、これまでの学習を振り返らせ、学習の定着に役立てることができる。

<学習場面>

表現・作成（個別学習）



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365：Teamsファイル
Google：Googleドライブ
□イ□：提出箱、資料箱
ミライシード：オクリンク

<モデル事例>

（学習支援クラウド活用の概要）

①実験の様子を写真や動画で記録し、シート等に添付して共有する。

②共有した写真や動画を基に話し合い、課題を解決する。

<ポイント>

○目的に合わせて対象物を撮影するように事前に指導する。

○理科で観察を行う学習では、写真・動画ファイルを蓄積することで時間の経過を踏まえた様子の変化を把握しやすい。

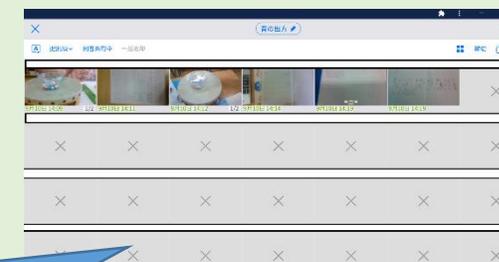
<注意点>

○動画の容量に注意する。容量が大きすぎると操作しづらくなる。

○タブレット等を持ち運び、カメラを使って撮影する技術が必要になるため、段階的な指導が必要である。



見て捉えづらい事象でも動画で見返すことで分かりやすくなる。



グループの代表が実験の様子を共有することで他の班の実験の様子も把握することができる。

<ハッシュタグ>

#初級 #撮影機能 #ファイルの共有 #ポートフォリオ #ファイルの蓄積 #繰り返し学習

学校行事をオンライン会議ツールを活用して行う

<期待される効果>

【児童・生徒】○各教室にしながら、全ての児童・生徒と交流ができ、参加意識が高まる。

【教師】○多くの児童・生徒が運営に携わることができ、意欲や満足度の高まりが期待できる。

<学習場面>

学校行事



<機能・ツール>

【会議】

M365 : Teams会議

Google:Google Meet

その他 : zoom、webex

<モデル事例>

○ビデオ会議システムで全教室を互いに接続。

○開会式→ゲーム(例：ハートリレー、ビンゴ、紙積み、ピンポン玉リレー)→閉会式。委員会が中心となり、企画の立案、司会進行を行う。

<ポイント>

○リハーサルと機械の接続具合の確認を事前に入念に行う。

(児童・生徒&教員)

○各班、ゲームの結果報告の仕方をシンプルで分かりやすい方法にする。

例：各班のゲームの結果は、ゲーム終了毎に結果記録用紙に回数を書いたものをカメラに映し、本部に報告する。または、挙手機能で終了したことを報告し、ゲーム結果を閉会式前に回収する。

<注意点>

○突発的な通信障害。それによって起きる進行の遅延を想定しておく。



<ハッシュタグ>

#上級 #特別活動 #オンライン会議 #協働学習 #主体的 #対話的 #学びに向かう力、人間性等

写真や動画を使って効果的にプレゼンテーションする

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を撮影することで、実際にその場所に行けなかった人にも情報の共有ができる。

【教師】○写真や動画の撮影を宿題にすることで保護者の協力も加わるなど、学びに深まりがでる。

<学習場面>

個人の考えを整理

全体に向けて発表



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365：Teamsファイル
(word、Excel、PowerPoint)

Google：Googleドライブ
(ドキュメント、スライド、
スプレッドシート)

ロイロ：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

<モデル事例>

○各自が、地域の自慢できる所の写真や動画を撮る。

○スライドアプリを使って、撮ってきた写真や動画、コメントを
書いてまとめる。

○友達にプレゼンテーションを行う。

<ポイント>

○配布されたシートのレイアウトを自由に変えてもよいが、
“見やすさ”を重視するよう指導が必要。

○必ず紹介する項目を確認しておく。

<注意点>

○小学校低学年の児童・生徒はスライドアプリを
使いこなすまで時間がかかる。

○実態に応じて、写真や動画のみをスライドに張り付けるのも可



<ハッシュタグ>

#中級 #調べ学習 #撮影機能 #発表 #個別学習 #主体的 #思考力・判断力・表現力等 #ファイルの共有

写真や動画を使って効果的にプレゼンテーションする

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を撮影することで、実際にその場所に行けなかった人にも情報の共有ができる。

【教師】○写真や動画の撮影を宿題にすることで保護者の協力も加わるなど、学びに深まりがでる。

<学習場面>

個人の考えを整理

全体に向けて発表



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365：Teamsファイル
(word、Excel、PowerPoint)

Google：Googleドライブ
(ドキュメント、スライド、
スプレッドシート)

ロイロ：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

<モデル事例>

○各自が、地域の自慢できる所の写真や動画を撮る。

○スライドアプリを使って、撮ってきた写真や動画、コメントを
書いてまとめる。

○友達にプレゼンテーションを行う。

<ポイント>

○配布されたシートのレイアウトを自由に変えてもよいが、
“見やすさ”を重視するよう指導が必要。

○必ず紹介する項目を確認しておく。

<注意点>

○小学校低学年の児童・生徒はスライドアプリを
使いこなすまで時間がかかる。

○実態に応じて、写真や動画のみをスライドに張り付けるのも可



<ハッシュタグ>

#中級 #調べ学習 #撮影機能 #発表 #個別学習 #主体的 #思考力・判断力・表現力等 #ファイルの共有

クラウドのファイル共有機能で、課題の「配布」「提出」「返却」を行う

<期待される効果>

【児童・生徒】○教材をデジタル化することで、拡大して表示したり、効率的に反復練習したりすることができる。

【教師】○ファイル共有機能を使って、課題の「配布」「提出」「返却」を管理することができる。

<学習場面> 個別学習



<機能・ツール>

【共有】

M365：Teamsファイル、課題
(word、Excel、PowerPoint)

Google:Googleドライブ
(スライド、ドキュメント、
スプレッドシート)

ロイロ：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

【その他】描画キャンバス

<モデル事例>

○課題となる資料を児童・生徒にオンライン経由で配り、児童・生徒はその画像を自分の保存領域に保存する。

○児童・生徒は、保存した画像を描画キャンバスに貼り付けて、課題に取り組む。

○完成した課題を絵として保存し、あらかじめ宿題提出用で児童・生徒に配布したスライドに貼り付ける。

○児童・生徒は担任にオンラインで提出する。

○教師は、コメントなどを付けてオンラインで児童・生徒に返却する。

<ポイント>

○描画キャンバスで文字を書いたりなぞったりする際に画像を拡大させて書くことができるため、書きやすい。

<注意点>

○スライダーページにつき一枚の課題を貼り付けるようにすると分かりやすい。



<ハッシュタグ>

#中級 #個別学習 #ファイルの共有 #主体的 #課題提出

動画で自分の動きを確認して、マット運動における技の完成度を高める

<期待される効果>

【児童・生徒】○撮影した動画で、自分の動きを何度も見返すことができ、手本とも比較することができる。

【教師】○過去の動画と見比べて、個々の児童・生徒の成長の様子を観察することができる。

<学習場面>

動画機能を使った協働学習



<モデル事例>

○マット内運動（マットあそび）の授業で自分の技の様子を動画で撮影し、グループ内で教え合う際に使用したり、お手本と見比べたりして、技の完成度を追究し、深める。

<ポイント>

○一度撮影した動画は端末に保存されるため、前回の授業の様子を見返すことができる。

○コマ送りをすることができるので、細部まで動きを確認することができる。

<注意点>

○端末操作にばかり集中してしまうこともあるため、事前の指導が必要。特に小学校低学年での使用は、端末操作の方に意識が向けられることが考えられる。低学年の場合は、担任に撮影してもらうなど、大人が操作した方がよい。



<ハッシュタグ>

#初級 #課題解決 #思考力・判断力・表現力等 #撮影機能 #一斉指導 #主体的

録音機能で、自分の発音や話し方を改善する

<期待される効果>

【児童・生徒】○自分の発音を見本の発音と聞き比べることで、発音やスピーキングに対する興味・関心が高まる。

【教師】○何度も録音した音声を確認することができ、正確な評価をすることができる。

<学習場面>

個別学習



<機能・ツール>

【撮影】カメラ、ボイスメモ
【共有】

M365：Teamsファイル
(word、Excel、PowerPoint)
Google：Googleドライブ
(ドキュメント、スライド、スプレッドシート)

□イ□：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

<モデル事例>

○ボイスメモ機能を使用し、自分が読んだ内容を録音する。

○録音した音声ファイルを聞き、正しい発音と聞き比べ分析、修正を行う。

○修正した音声ファイルをオンラインで教員に提出する。

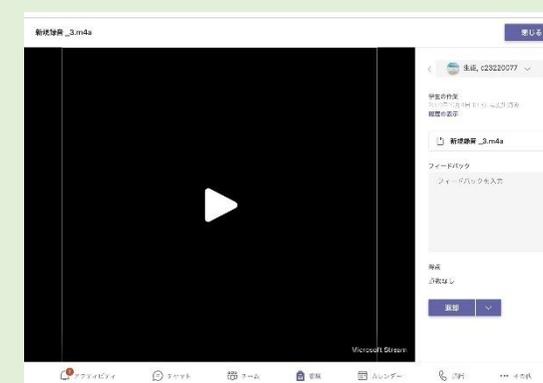
<ポイント>

○トリミング機能を活用し、続けて発音して聞き比べ、良い音声ファイルを残すなどもできる。

○一人で簡単に取り組むことができる。

<注意点>

○自分の声を録音して聞くということに抵抗や恥ずかしさが強いクラスは、一斉に録音するなど工夫が必要になってくる。



<ハッシュタグ>

#初級 #個別学習 #撮影機能 #課題解決 #ファイルの共有 #思考力・判断力・表現力等 #発表 #特別支援

ホワイトボードアプリ上で、意見を可視化しながらまとめる

<期待される効果>

【児童・生徒】○意見をグループ分けし、分析したり、問題を可視化したりすることができる。様々な意見に触れることもでき、思考の幅が広がる。

【教師】○より多くの意見を整理し、視覚化することができ、話し合い活動を進めやすくなる。

<学習場面>

思考を深める学習



<機能・ツール>

【投稿】

M365 : Teams投稿

Google: classroom

ロイロ : タイムライン

【その他】 Post-it

<モデル事例>

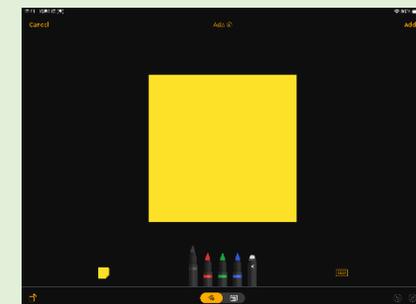
- グループを作成しておく。
- QRコードを読み取りグループへセッションする。
- 付箋に自分の意見を書き込み、グループへ送信する。
- 集めた意見をグループに分けたり並び替えたりする。
- 精査した意見をまとめてグループの意見として文章化する。

<ポイント>

- 様々な意見が分かり、少数意見を見過ごさずに注目することができる。
- 児童・生徒がリーダーになりグループを作成することで、各グループごとの意見がより活発にすることができる。

<注意点>

- 「Post-it」は日本語対応していないので、やり方など事前によく把握しておく必要がある。



<ハッシュタグ>

#上級 #投稿機能 #協働学習 #思考力・判断力・表現力等 #特別支援 #共同編集 #課題解決 #視覚化

校閲機能で、作品の改善点をコメントする

<期待される効果>

【児童・生徒】○他者から意見をもらうことで、効率的に表現力など文章作成能力を高めることができる。

【教師】○添削やフィードバックが容易に行えるため、作業効率上がる。

<学習場面> 個別学習



<機能・ツール>

【協働】

M365 : onenote
(word (校閲)、Excel、PowerPoint)
Google:Google Jamboard
ロイロ : シンキングツール
ミライ : ムーブノート

<モデル事例>

○あらかじめwordでフォーマットや問題を作成しておく。

○Teamsなどに置き、共有する。

○児童・生徒が作成した資料を校閲機能で添削し、フィードバックする。

<ポイント>

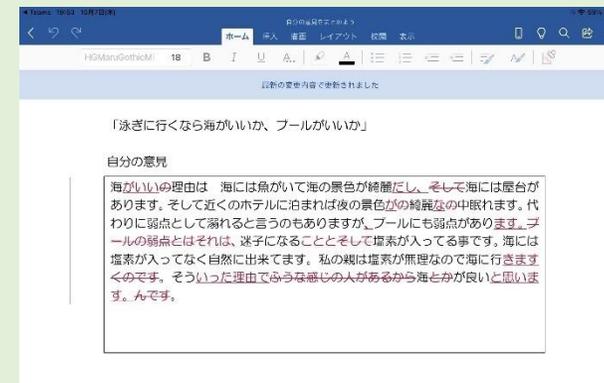
○校閲した履歴を残すことも、残さないこともできる。また、添削の他にコメントを残すこともできる。

○児童・生徒同士でも添削ができたり、コメントで感想などを伝えあうことができる。

<注意点>

○完成した資料を印刷等する場合は校閲のオフにする。

○児童・生徒同士が不適切なコメントを伝えないように注意する。



<ハッシュタグ>

#初級 #個別学習 #共同編集 #協働学習 #思考力・判断力・表現力等 #課題解決 #特別支援

カメラ機能を使って植物の成長・変化を観察する

<期待される効果>

【児童・生徒】○カメラ機能で成長や変化を記録することで、植物の成長過程を観察することができ、探究的な姿勢を育むことができる。

【児童・生徒】○植物の成長過程や詳細を観察することができ、理解が深まる。また、興味・関心が高まる。

<学習場面>

調査活動



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365：Teamsファイル
(word、Excel、PowerPoint)

Google:Googleドライブ
(ドキュメント、スライド、スプレッドシート)

□イ□：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

【その他】計測

<モデル事例>

○教師は予めwordやデジタルノートに観察記録フォーマットを作成し共有する。

○写真機能と計測機能を使用し、植物の成長の様子を観察する。

○写真の中から、成長の様子が一番分かりやすいものを各自で選ぶ。

○予め共有していたフォーマットに写真を貼付し、植物の大きさや長さ成長の様子などについて文章を入力する。

<ポイント>

○観察記録を簡単に見返し、簡単に振り返りや変化を比べることができる。

○絵を描くことや記録するための描画・習字の能力差なく表現することができる。

<注意点>

○観察のポイントを明確にし、しっかりと焦点化しながら観察するように指導する。



<ハッシュタグ>

#中級 #撮影機能 #調査活動 #ファイルの蓄積 #ファイルの共有 #主体的 #学びに向かう力、人間性等 #特別支援

共同編集機能で、グループの意見を整理してまとめる

<期待される効果>

【児童・生徒】○共同編集により、周りの意見を知ることができ、思考を深めることができる。

【児童・生徒】○様々な意見を共有することで、意見交流が活発になる。

<学習場面>

協働での意見整理
複数の意見に触れ、考えを整理。



<機能・ツール>

【協働】

M365 : One note

Google:Google Jamboard

ロイロ : シンキングツール

ミライ : ムーブノート

<モデル事例>

○あらかじめグループのワークシート (PowerPoint・Onenote) のフォーマットを作成し、共有する。

○それぞれ自分の考えをワークシートに入力する。

○各自が入力した意見をグループで共有し、グループの意見として整理する。

○各グループで整理した意見を、全体で共有する。

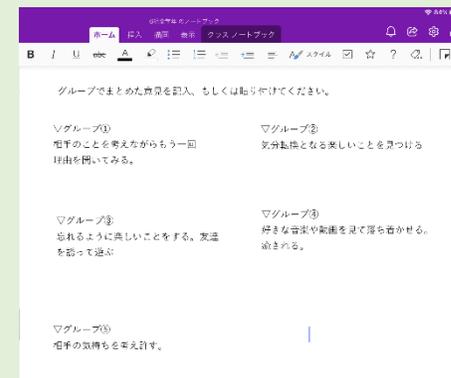
(各グループの意見を、新たなシートにまとめて全体で共有してもよい。)

<ポイント>

○互いの考えを視覚的に共有することができ、意見の整理が円滑に進む。

<注意点>

○児童・生徒の実態などに応じて、個人のページ (ワークシート) に意見を入力し、グループのワークシートへコピーしたものを貼り付けるなど工夫も必要。



<ハッシュタグ>

#中級 #協働学習 #共同編集 #一斉指導 #思考力・判断力・表現力等 #特別支援 #対話的

共同編集機能で、各自が調べた内容を一つの発表資料にまとめる

<期待される効果>

【児童・生徒】○共同編集機能により、発表資料の作成に意欲的に取り組むことができる。

【教師】○必要な情報を判断する力、精査する能力、課題解決までの思考力を育成することができる。

<学習場面>

協働制作



<機能・ツール>

【共有】

M365: Teamsファイル
(PowerPointなど)

Google:Googleドライブ

□イ□: 提出箱、資料箱

ミライ: オクリンク

【協働】

M365: onenote

Google:Google Jamboard

□イ□: シンキングツール

ミライ: ムーブノート

<モデル事例>

○教師がPowerPointでフォーマットを作成し、あらかじめクラウドへ保存し共有する。

○児童・生徒は自分の与えられたテーマに沿って調べる。

○各自調べたことや資料から読み取れた内容を、スライドへ入力する。

○作成されたスライドはリアルタイムで反映・共有される。

○各グループで作成したPowerPointの内容を精査・確認・発表する。

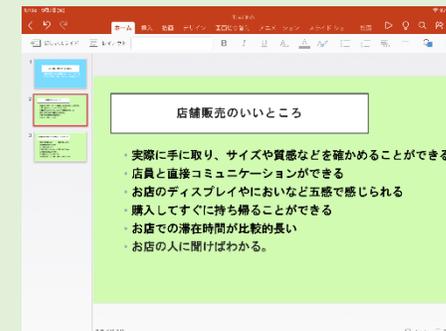
<ポイント>

○児童・生徒の実態に応じてレイアウトなども児童・生徒自身が作成、変更することができる。

<注意点>

○誤った操作でグループ全体のスライドが消えてしまうことがあるため注意する。

○同じスライドを複数人では編集できないツールの場合、ページの割り振り等あらかじめ決めておく必要がある。



<ハッシュタグ>

#中級 #調べ学習 #ファイルの共有 #共同編集 #協働学習 #主体的 #特別支援 #発表 #思考力・判断力・表現力等

オンライン投稿機能で、互いの考えを共有し、考えを深める

<期待される効果>

【児童・生徒】○離れた場所から互いの意見を共有し、意見の整理をリアルタイムに行うことができる。

【教師】○意見がデジタルで記録されるため、過去に出た意見をそのまま振り返らせることができる。

<学習場面>

思考を深める学習
発表や話し合い



<機能・ツール>

【投稿】

M365: Teams投稿
Google: Classroom
ロイロ: タイムライン

<モデル事例>

○用意しておいた資料(図・写真・グラフ・学習問題など)を教師がクラウドに投稿(共有)する。

○学習者は、資料を見て気付いたことを返信欄に書き、送信。

※意見を書いたノートを撮影し、写真を送信してもよい。**初級**

○人の考えに👍などの反応をすることで相手への意識を高める。

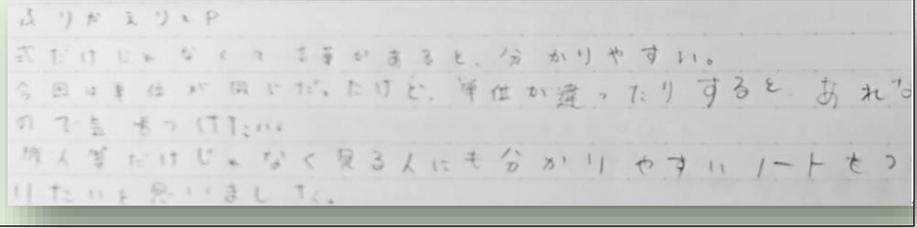
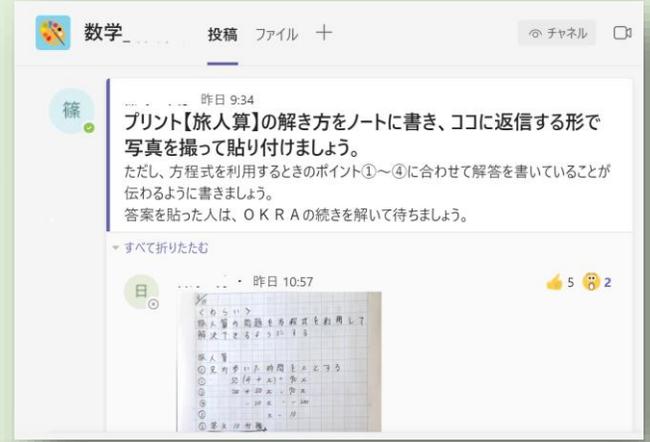
<ポイント>

○他者と自分の考えを比較し、多面的・多角的な見方を知り、思考を深めることができる。

○教師の「投稿」に学習者が「返信」する形式を定着させる。

<注意点>

○情報モラル教育として、自分の考えを文章で伝えるときの注意点を事前に十分伝えておく。



<ハッシュタグ>

#発表 #話し合い #投稿機能 #一斉指導 #思考力・判断力・表現力等 #ファイル共有 #初級

学習の記録をデータで蓄積し、学びに向かう力を高める

<期待される効果>

【児童・生徒】○学習の記録をデジタル化しておくことで膨大な量の記録が可能になり、紛失の心配もない。

【教師】○学習履歴を「いつでも」「どこでも」振り返り、成長を実感させることができる。

<学習場面>

個に応じた学習



<機能・ツール>

【共有】

M365：Teamsファイル
(Word、Excel、PowerPointなど)

Google：Googleドライブ

□イ□：提出箱

<モデル事例>

○教師は、使用する記録用紙の元データを作成し、クラウド上で共有

※文書作成アプリ・表計算アプリ・資料作成アプリ等 **初級**

○学習者は、受け取ったデータに必要な事項を記入する。

クラウドの指定された場所にデータを保存する。

<ポイント>

○ファイル名の決め方を統一すると、管理しやすい。

※日付・学籍番号など数字を入れると順番に並べやすい。

例：日付__タイトル__学籍番号__氏名.jpg

<注意点>

○共有方法によっては誰でも編集可能になる。

○保護や編集制限をかけると無断で編集されることはない。

日付	実施級	記録	正答数/問題数
9月14日	4級	12分0秒	100問/100問中
9月15日		13分0秒	100問/100問中
9月16日		13分0秒	99問/100問中

名前	更新日時
(学籍番号と氏名を入力)朝マス計算記録...	昨日 17:37
3101...朝マス計算記録表.xlsx	16:39 (木曜日)
3103...朝マス計算記録表.xlsx	10:50 (木曜日)

<ハッシュタグ>

#個別学習 #ファイル共有 #一斉指導 #学びに向かう力、人間性等 #ファイルの蓄積 #初級

クラウドのファイル共有機能で、他者のレポートを参考にして学びを深める

<期待される効果>

【児童・生徒】○自分のタイミングで「いつでも」「どこでも」他者のレポートを閲覧することができる。

【児童・生徒】○他者のレポートを閲覧・比較し、多様な視点を獲得することで、理解が深まる。

<学習場面>

調査活動



<機能・ツール>

【協働】

M365 : OneNote

Google : Google

Jamboard

ロイロ : シンキングツール

ミライ : ムーブノート

<モデル事例>

○教師は、児童・生徒が書き込むワークシートを全員分準備しておく。

※共同作業スペース（OneNote）を使用する。中級

○学習者は、作業の過程や結果（実験結果など）を書き込む。

他者のデータを閲覧し、過程や結果を比較して、理解を深める。

<ポイント>

○複数名で同時に一つのデータを閲覧できるので、待ち時間がない。

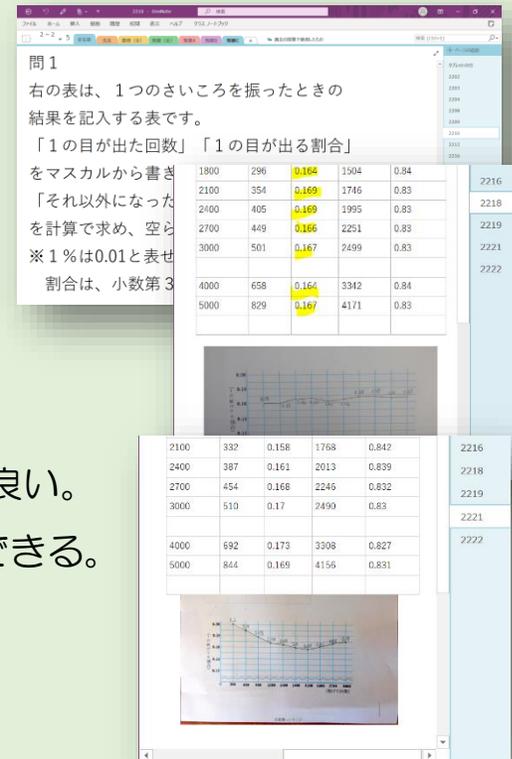
○共通点・相違点が分かりやすくなるよう、記録用紙の準備をすると良い。

○表計算アプリ（Excel）の共同編集などを活用しても、似た活動ができる。

<注意点>

○共有データが間違えて消されてしまうことがある。

※データは個人フォルダにコピーしておく方が良い。上級



<ハッシュタグ>

#調査活動 #協働学習 #ファイル共有 #一斉指導 #思考力・判断力・表現力等 #中級 #上級

アンケート機能で、学習者がアンケートを作成し、課題を発見する

<期待される効果>

【児童・生徒】○アンケートの集計結果が瞬時に得られ、複数で同時に閲覧できるため、すぐに協働学習を進められる。

【教師】○意見交流をしながら、集計結果を分析させることができる。

<学習場面>

協働制作のための
協働学習



<機能・ツール>

【調査】

M365 : Forms
Google : フォーム
□イ□ : アンケート

<モデル事例>

○学習者が、目的に応じて情報収集するためのアンケートを作成し、情報を収集する。

※学習者の能力によっては、教師がアンケートを作成する。中級

○アンケート結果をグループで分析し、課題を発見する。

○課題解決方法を検討し、グループごとにまとめる。

<ポイント>

○アンケートは、共同作成・編集できる。

○アンケート結果は、自動でグラフ化される。

※項目を工夫すると視覚的に分かりやすい。

<注意点>

○結果を分析したり、課題を発見したりするのに
時間がかかる場合がある。



09/07 11:37
たしかに、P QとB E、P QとC Fはのびしたら交わっちゃうね。

09/07 11:39
そう。問二
一番簡単な方法は
①元の三角形の面積を求める
②四角形のBCFEの面積を求める
このあと2つの四角形の面積を比較する方法に気づけば、解けますね！ だそうです。

09/07 11:40
さき問2を解いてみたんだけど四角形BCFEとBPQFの面積を比にしてみたら、一応答
るかはわからないけど。

09/07 11:41
-! たぶんあってるおもうよ。早く書かないとね

09/07 11:43 編集済み
一応式書せとね
三角形 = $3 \times 4 \div 2 \times 6 = 36$
四角形D-B C F E = $36 - 3 \times 4 \div 2 \times 6 \div 3 = 36 - 12 = 24$
四角形B C F E (長方形) = $5 \times 6 = 30$
四角形P B Q F (平行四辺形)
= $4 \times 6 = 24$
B C F E : P B C F = 5 : 4
 $5 : 4 = 24 : x$
 $5x = 96$
 $x = 96$
 $x = 5$

<ハッシュタグ>

#協働学習 #アンケート機能 #一斉指導 #思考力・判断力・表現力等 #課題解決 #中級 #上級

オンライン投稿機能で学校や教師と連絡を取り合う

<期待される効果>

【児童・生徒】○授業や授業以外で普段から連絡を取り合う場として活用できるため、主体的に学習や教育活動に取り組もうとする意欲が高まる。

<学習場面>

個に応じた学習
(個別学習)
家庭学習など



<機能・ツール>

【投稿】

M365 : Teams
Google : Classroom
※以下のアプリは授業時限定
□イ□ : 提出箱
ミライ : オクリンク

<モデル事例>

初級

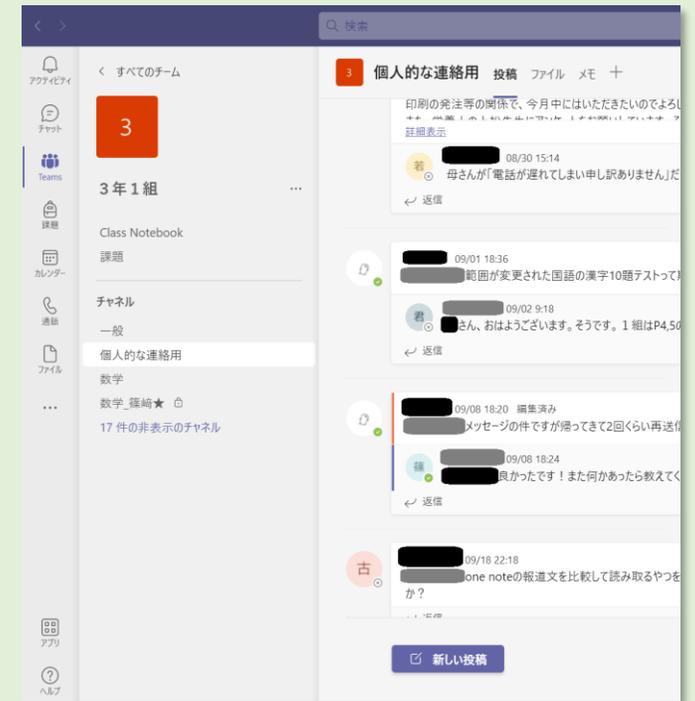
- 学級のチームに「個人的な連絡用」チャンネルを作成
- 次のような使い分けの指導を、一斉に行った。
 - ・「一般」チャンネルは、教師からの一方的な伝達事項
 - ・「個人的な連絡」チャンネルは、双方向の連絡手段

<ポイント>

- 通知機能（メンション）を説明し、練習を行った。
- 学校・教師に対し、積極的に質問をすることが期待できる。

<注意点>

- 内容によって、対面のやり取りが必要な場合もある。
また、必要に応じ、学校全体で情報共有を行う。
- 「アクティビティ」で通知確認をする習慣が身に付くと、有用性を感じられるようになる。



<ハッシュタグ>

#個別学習 #投稿機能 #特別活動 #家庭学習 #初級

クラウドのファイル共有機能でワークシートや授業スライドなどを配布する

<期待される効果>

【児童・生徒】○デジタルで配布することで、紛失の心配がなく、必要な時にデータを閲覧し、復習することができる。

【児童・生徒】○登校できない場合でも、資料を受け取ることができる。

<学習場面>

思考を深める学習
(個別学習)



<機能・ツール>

【共有】

M365 : Teamsファイル
Google : Googleドライブ

【投稿】

M365 : Teams 投稿
Google : Classroom

<モデル事例>

○授業開始前に、資料をデジタル配布する。(ファイル共有機能) 配布した場所を伝える。初級

○解答例の場合は、答え合わせの際に参考にするように指示を出す。

※正誤にかかわらず、解答の説明や表現方法を例から学ぶように伝える。

<ポイント>

○長期的に使用する資料を配布する場合、場所や名前が分かりやすいように、構造化しておく。

<注意点>

○配布した資料が簡単に書き換えられてしまうのを防ぐために次のような対応をすることができる。

①データ自体を保護しておく ②PDF化しておく

③クラウドの設定で学習者はデータを編集できないようにしておく。

(閲覧のみに設定しておく。)



<ハッシュタグ>

#ファイル共有 #個別学習 #一斉指導 #思考力・判断力・表現力等 #初級 #投稿機能

配信のために、共同編集したプレゼン用ファイルを動画に変換する

<期待される効果>

【児童・生徒】○共同で動画を作る活動を通して、部活動・生徒会活動・委員会活動など、主体的に学校行事に関わろうとする意欲が高まる。

<学習場面>

共同制作（協働学習）



<機能・ツール>

【撮影】カメラ（動画）

その他：iMovie

【共有】M365：Teams
(PowerPoint)

※Windowsビデオエディター
を使って動画編集も可能。

<モデル事例>

○紹介する内容をあらかじめ決めておき、大体の構想を練り、写真・動画を撮影しておく。中級

○動画を繋ぎ合わせる方法を簡単に説明する。（PowerPointやビデオエディターなど）

※詳しい使い方は、操作しながら児童・生徒が見つけられると良い。

○PowerPointを一つの動画にする方法は
ファイル⇒エクスポート⇒ビデオの作成

<ポイント>

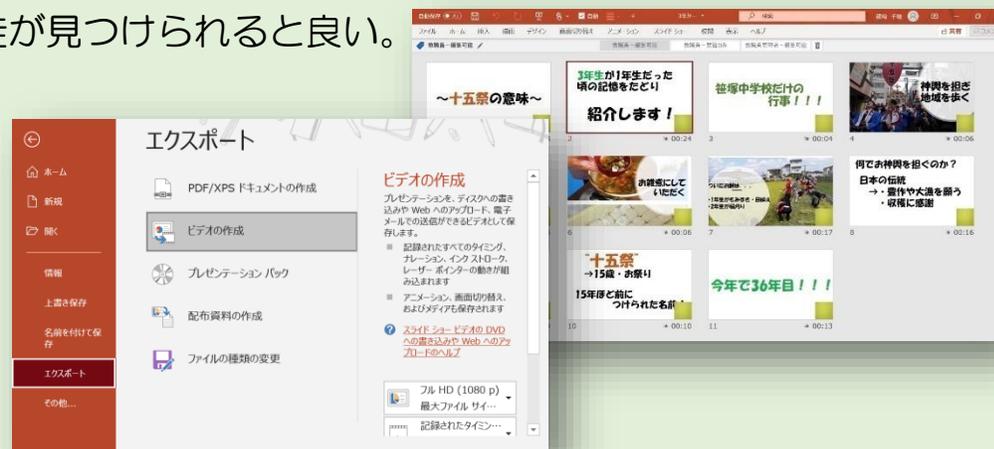
○クラウドを活用すると共同編集が可能

○必ず教員が、動画の内容を確認する。

<注意点>

○動画作成の際には、肖像権や著作権などについて、あらかじめ学習者が理解しておく必要がある。

○動画の目的に応じ、画質を調整してファイルサイズを抑える。



<ハッシュタグ>

#共同編集 #撮影機能 #思考力・判断力・表現力等 #特別活動 #中級 #ファイル共有

作成した動画を、クラウド上で公開範囲を考えて配信する

<期待される効果>

【児童・生徒】○作成した動画を限定公開することで、相手に応じて情報を発信する力を育成することができる。

【教師】○情報発信における情報モラル意識を醸成できる。

<学習場面>

共同制作（協働学習）



<機能・ツール>

【撮影】 カメラ

その他：iMovie

【共有】

M365：Stream
（動画共有サービス）

<モデル事例>

○動画を視聴できるユーザーやグループを教員と決めておき、アクセス許可の設定をする。上級

○コメントは基本的にオフに設定するよう指示する。

○動画名は、内容が分かりやすいものにする。

<ポイント>

○動画の趣旨に合わせ「〇〇委員会」などチャンネルを作成しておき動画をリンクしておく、後から関連する動画を見付けやすくなる。

<注意点>

○事前の情報モラル教育が必要となる。

○動画をアップロードする前に、必ず教員が内容を確認する。

○アクセス許可で「社内全員」を選ぶと、自治体内全教員児童・生徒へ公開される。



<ハッシュタグ>

#共同編集 #ファイル共有 #思考力・判断力・表現力等 #特別活動 #上級

アンケート機能で、場所や時間に縛られずに情報を収集する

<期待される効果>

【児童・生徒】○テーマに関する実態を素早く手軽に実施できる。

【教師】○根拠に基づいて意見を述べることを指導できる。

<学習場面>

調査活動（個別学習）



<機能・ツール>

【調査】

M365 : Forms

Google : フォーム

ロイロ : アンケート

<モデル事例>

○調べたい内容をあらかじめ決めておく。

○Formsの使い方（アンケートの作り方）を簡単に説明する。

※詳しい使い方は、児童・生徒が操作しながら自分で見付けられると良い。

<ポイント>

○結果が瞬時に分かる。

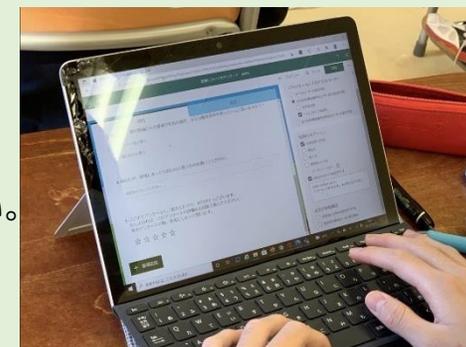
※グラフでも表示される。（設問の仕方によっては、分析しやすい）

○時間や場所に縛られない。

※遠くにいる相手や直接会えない相手にも、調査を行うことが可能となる。

<注意点>

○「個人情報の取り扱い」や「相手を不快にさせる表現」など情報モラルについて、事前に十分な確認（指導）をしておく。



<ハッシュタグ>

#初級 #調査活動 #アンケート機能 #個別学習 #課題解決 #思考力・判断力・表現力等 #特別活動

オンデマンド動画で、ポイントとなる部分のみを効率的に視聴する

<期待される効果>

【児童・生徒】○重要な部分を繰り返し見ることができ、効率的に動画で学ぶことができる。

【教師】○動画にタイムスタンプを設定することで、視聴させたい部分をすぐに見せることができる。

<学習場面>

個に応じた学習
(個別学習)



<機能・ツール>

【撮影】
カメラ (動画)

【共有】
M365 : Stream
その他 : YouTubeなど
動画共有サービス

<モデル事例>

○部活動の発表会の動画を作成した。

○動画は、Streamで限定公開にし、校内で共有した。

<ポイント>

○説明の中に、動画の中でもポイントとなる時間のタイムスタンプを入力する。

※目次を作成でき、児童・生徒が知りたいポイントから視聴できる。

○動画一覧を構造化すると良い。(# を使用すると見付けやすい)

例) 第●学年>○○科>○○ (单元名)

<注意点>

○Streamなどの動画共有サービスでは、必ず限定公開にする。

肖像権等の取り扱いに十分注意する。



<ハッシュタグ>

#個別学習 #ファイル共有 #撮影機能 #思考力・判断力・表現力等 #復習 #中級

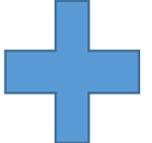
クラウドのファイル共有機能で、自他の学習の記録を閲覧し学びを深める

<期待される効果>

- 【児童・生徒】○ファイルを共同編集することで、他者と容易に考えを比較することができる。
- 【教師】○学びを振り返ることができるため、自分自身の成長に気付かせることができる。

<学習場面>

自分の考えをまとめ、友達や過去の自分と比較。



<機能・ツール>

- 【共有】
- M365：Teamsファイル (PowerPoint)
- Google：Googleドライブ (スライド)
- イ□：共有ノート (Web版で使用可)

<事例>

- 教師が児童・生徒にスライド等の資料を送信する。
- 出席番号別に割り振られたスライドに自分の考えをまとめる。
- 他のスライドの友達の意見や今までの自分の考えと見比べる。
- (例)生活科…トマトの観察 理科…季節と生物

<ポイント>

- 一つのファイルで学級全員で閲覧できるとよい。
- グループ単位でファイルを共有することで細分化もできる。
- 季節ごとの観察などにデータで保存できるので比較しやすい。

<注意点>

- 自分のページ以外は編集しないように事前指導が必要である。



<ハッシュタグ>

#振り返り #協働学習 #思考力・判断力・表現力等 #共同編集 #意見交流 #中級

オンライン投稿機能で、自分の考えや振り返りなどを提出する

<期待される効果>

【児童・生徒】○口頭で発表することに苦手意識のある児童・生徒の意見も共有することができる。

【教師】○提出された意見を把握した上で、ピックアップして学級全体に紹介することができる。

<学習場面>

個別学習
発表など



<機能・ツール>

【投稿】

Google : Classroom
M365 : Teams 投稿

【共有】

□イ□ : 提出箱
ミライ : オクリンク

<事例>

○教師が児童・生徒に記入するファイルを送信する。

○自分の考えを書き込み、教員に提出する。

(例) 学級活動…アンケート調査

各教科…振り返りや意見の提出

<ポイント>

○一つのファイルを学級全員で閲覧できるとよい。

○友達の考えを閲覧し、自分との考えを比較させることもできる。

○グループ単位でファイルを共有することでファイルを細分化もできる。

<注意点>

○タイピングスキルが伴っていない児童・生徒がいる場合は配慮が必要。ノートに書いたものを写真を撮り添付させるとよい。



<ハッシュタグ>

#投稿機能 #ファイル共有 #振り返り #協働学習 #思考力・判断力・表現力等 #共同編集 #中級

共同編集機能で、一つのファイルをグループで編集する

<期待される効果>

【児童・生徒】○共同編集することで、役割を明確にして活動することができるため、明確な目的意識をもって活動できる。

【教師】○児童・生徒同士の関わりの中で、協働的な学びを行わせることができる。

<学習場面>

協働制作



<機能・ツール>

【共有】

M365 : Teams ファイル
(PowerPoint等)

Google : Googleドライブ
(スライド等)

□イ□ : 提出箱

<モデル事例>

○教員が児童・生徒にスライド等の資料を送信する。

○児童・生徒はグループで作成するページを役割分担をする。

○個別に担当のページを編集する。

○友達のパージを閲覧し、アドバイスを伝え合い更に改善する。

○完成したら教師にデータを電子提出する。

(例) 総合的な学習…発表スライドの作成

学級活動…係活動の内容の作成

<ポイント>

○グループ内で作成したページを互いに見合うことで議論が活発になり、より主体的な学習になる。

○リアルタイムに教員がファイルを閲覧することで、即時に改善点を伝えることができる。

<注意点>

○スライド等のファイル内で児童・生徒がやり取りが可能になる場合があるので、事前の指導が必要



<ハッシュタグ>

#調べ学習 #発表 #協働学習 #共同編集 #ファイル共有 #中級

各自の目標をクラウド上で共有し、互いの意欲を高める

<期待される効果>

【児童・生徒】○クラウド上で個々の目標を共有することで、同じ目標をもった他者と協力でき、学習意欲を高めることができる。

【教 師】○個々の目標に応じた指導ができる。

<学習場面>

目標を書き込み、
全体で共有



<機能・ツール>

【協働】

Google : Jamboard

□イ□ : 提出箱

【投稿】

M365 : 投稿・コメント

<モデル事例>

○前転や後転など複数の技について学習する。

○体育のマット運動等で、各自がどの技を目標にするのかをクラウドに書き込む。

○クラウドの共有機能で、各自の目標を共有する。

<ポイント>

○運動するための時間を確保するために、目標を簡単に書き込めるようフォーマットを工夫する。

<注意点>

○運動量確保のために、時間をかけずに書き込めるような工夫が必要である。



<ハッシュタグ>

#協働学習 #投稿機能 #ファイル共有 #学びに向かう力、人間性等 #初級

学年レクリエーションをオンライン会議ツールで行う

<期待される効果>

【児童・生徒】○画面上に児童・生徒の表情が大きく映し出されるため、相手の存在を身近に感じることができ、対面とは違った趣向のレクリエーションができる。

<学習場面>

学年レクリエーション
学年集会、学校行事など



<機能・ツール>

【会議】

M365 : Teams 会議

Google : Google Meet

その他 : Zoom / Webex

<モデル事例>

- 各学級毎にリモート参加し、電子黒板等に画面を拡大し、児童・生徒全員が見られるようにする。
- 司会グループは別室で行うとスムーズに進行ができる。
- アンケート機能を使った投票や、画面上で漫才や特技を披露するなどして楽しむ。

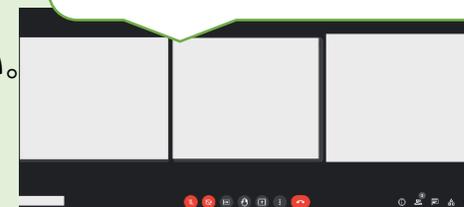
<ポイント>

- 画面共有機能などを使って、動画などを使用すると更に盛り上がる。
- 児童・生徒は進行等に集中させるため、機器操作は教員が行うとよい。

<注意点>

- インターネット回線が重くならないために、接続するPCは少ない方がよい。

各学級と司会グループ
で繋ぐとよい



<ハッシュタグ>

#オンライン会議 #発表 #協働学習 #特別活動 #中級

アンケート機能でクラスの意見を素早く集約する

<期待される効果>

【教師】○目的に応じて匿名又は記名でアンケートを行うことができる。

【児童・生徒】○クラスの考えなどを瞬時にグラフ化することで、視覚的に理解することができる。

<学習場面>

個に応じた学習

思考を深める学習



<機能・ツール>

【調査】

M365 : Forms フォーム

Google : フォーム

ロイロ : アンケート

ミライ : ムーブノート

(集計)

<モデル事例>

○項目や回答形式などを考え、クラウド上でアンケートを作成する。

○授業前までに共有機能で児童・生徒にアンケートを配付する。

○児童・生徒にアンケートを回答させ、送信させる。

○アンケート結果を大型提示装置に示し、結果の分析や意見の紹介などを行う。

○アンケート結果を授業の振り返りや次時の導入につなげる。

<ポイント>

○匿名でも、記名でも可能。用途によって使い分けると良い。

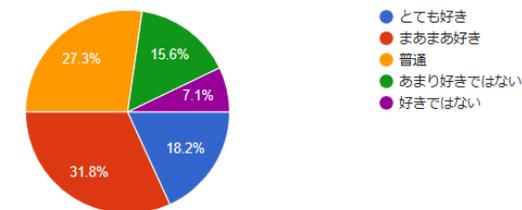
○回答形式は質問事項や使用用途によって変更すると良い。

<注意点>

○想定していた結果が出るとは限らないのであらゆるパターンを想定してその後の展開を準備しておく。

あなたは地理の授業が好きですか？

154 件の回答



<ハッシュタグ>

#振り返り #自動集計 #アンケート機能 #個別学習 #思考力・判断力・表現力等 #主体的 #中級

授業で使用した資料を家庭で使用できるようにクラウド上で共有する

<期待される効果>

【児童・生徒】○家庭で復習をする際に、教室で提示された資料を使って復習することができる。

【教師】○欠席した児童・生徒にも同じ資料を提示することができる。

<学習場面>

個に応じた学習

家庭での学習（復習）



<機能・ツール>

【共有】

Google：Googleドライブ

M365：Teams ファイル

□イ□：資料箱

<モデル事例>

○教科ごとやクラスごとに教員と児童・生徒の共有ドライブを作成する。

○授業で使用したプリントやスライドなどをドライブに入れる。

○児童・生徒が各家庭でドライブにアクセスし、復習の際に授業を思い出しながら学習する。

○欠席者はスライドを見ながら休んだ分の授業内容を自ら確認する。

<ポイント>

○单元ごとにフォルダ分けをして整理すると児童・生徒が目的の資料を見つけやすい。

○板書を写真に撮ってドライブに入れておくだけでも効果がある。

<注意点>

○授業のねらいや児童・生徒の実態に応じて共有するデータを精選する必要がある。



<ハッシュタグ>

#家庭学習 #ファイル共有 #個別指導 #主体的 #復習 #中級

ホワイトボードアプリ上で、意見を共有し、色分けしながら比較・分類する

<期待される効果>

【児童・生徒】○クラウド上で自他の意見を比較することで多面的・多角的な視点をもって学習に取り組むことができる。

【教師】○意見をそのまま保存できるので、教師が授業改善に生かすことができる。

<学習場面>

発表や話し合い
(協働学習)



<機能・ツール>

【協働】

M365 : OneNote

Google : Jamboard

□イ□ : シンキングツール

ミライ : ムーブノート

<モデル事例>

○授業者が事前にJamboardのフレームを作成しておく。

○付箋機能を使って児童・生徒に自分の考えを記入させる。

○大型提示装置に映し、意見の比較や分類を行う。

○授業後に児童・生徒の意見の変化等を見直し、
授業改善の材料とする。

<ポイント>

○児童・生徒への指示は「背景」として設定し、消えないようにする。

○グループで意見を出させる場合はグループ数分のフレームを事前に用意しておく。

○意見の種類によって付箋の色を変えておくと共有した時に見やすくなる。

<注意点>

○扱い方について注意事項を説明しておかなければ、他者の意見を消してしまったり、書き換えてしまうおそれがある。

故郷を離れて暮らすデメリット				5班				故郷を離れて暮らすデメリット			
こっちはこの色で!	親に怒られない	一人でもちゃんと生活ができる様になる	自分のやりたいことを自由にできる	寂しい	何かあったとき心細い	親に異変が起きたときにすぐに行けない	こっちはこの色で!				
自分の方で生活できる	親のことを気にせず生活できる	親を忘れる	親にみられない	土地勘がない	悲しい	何かあったとき親を頼れない	親に金が貰えない				
怒られない	新しい出会いがある	やりたいことができる	自由にできる	今まで親にやっていたことを一人やることが出来なくなる	誕生日に親が帰ってくれない	引っ越しするときの手続きが面倒	虫が出たとき何もできない				

<ハッシュタグ>

#協働学習 #一斉指導 #主体的 #思考力・判断力・表現力等 #共同編集 #話し合い #中級

マット運動の様子を撮影し、互いの改善点を指摘し合う

<期待される効果>

【児童・生徒】○演技を撮影し、他者に客観的に確認してもらうことで、上手くいった点や改善点に気付くことができる。

【教師】○振り返りで見つけたポイントを意識して、改善させることができる。

<学習場面>

協働学習



<機能・ツール>

【撮影】

カメラ

<モデル事例>

○体育館にタブレットを持参し、撮影の方法や目的を児童・生徒に説明する。

①2人1組で互いに演技を撮影する。

②2人で映像を見て、良い点と改善点をそれぞれ指摘する。

③指摘を受けたポイントに気を付けて練習をする。

○①～③を繰り返す。

<ポイント>

○途中でパートナーを替えるなど、多面的・多角的な視点で指摘をできるようにする。

○大型提示装置に模範演技を流しておき、自身の演技と見比べることができるようにする。

<注意点>

○タブレットの画面を見るのでグループの人数を多くし過ぎない。

○タブレットを置く位置などを指示し、破損のないようにする。



<ハッシュタグ>

#振り返り #撮影機能 #協働指導 #主体的 #初級

小テストをアンケート機能で実施するとともに、自動採点し瞬時に結果を示す

<期待される効果>

【児童・生徒】○結果がすぐに分かるので、記憶が鮮明なうちに振り返りができる。

【教師】○採点の手間が省けるのでテストを実施する頻度を増やすことができ、基礎的な知識の定着を図りやすい。

<学習場面>

個に応じた学習



<機能・ツール>

【調査】

Google : フォーム
M365 : Forms クイズ
ロイロ : テスト
ミライ : ムーブノート
(集計)

<モデル事例>

○テストの問題を作成する（問題は紙面で配付する）。

○フォームで問題用紙を作成する（自動採点のための解答も入力する）。

○Google Classroomで問題用紙を配布する。

○問題用紙を配布し、回答が終わった児童・生徒に送信させ、自身の結果を振り返らせる。

<ポイント>

○Google Formでは回答中に他のアプリなどを開けないようにロックをかけたり、一度しか回答できないように設定したりすることができる。

○変換ミスやスペースが入るだけで×となるので、事前に児童・生徒に注意喚起する。

○上記のようなことがあった場合は手動で修正する。

<注意点>

○ネットワーク障害が起きた時に備えて、問題は紙でも用意し、紙での回答も許可する。



<ハッシュタグ>

#テスト機能 #個別学習 #知識及び技能 #自動採点 #中級

オンライン投稿機能やクラウドのファイル共有機能で様々な情報を共有する

<期待される効果>

【児童・生徒】○活動の映像や資料を共有することで効果的な振り返りができる。

【教師】○学校のクラウド内でファイルを公開することで、保護者に活動の様子や連絡事項を共有することができる。

<学習場面>

協働学習



<機能・ツール>

【投稿】

Google : Classroom
M365 : Teams 投稿

【共有】

Google : Googleドライブ
M365 : Team ファイル

<モデル事例>

○各部活動や委員会ごとにClassroomを作成し、児童・生徒を招待する。

○活動の様子やカメラ機能で撮影したり、議事録をファイルで作成したりする。

○Googleドライブ（容量無制限）にアップロードする。

○Classroomに映像や資料、コメントなどをアップする。

○児童・生徒に振り返りのコメントを送付させる。

<ポイント>

○Classroom の使い方や使用の際のルールを事前に決めておく。

<注意点>

○必要があればファイルの共有範囲等に制限をかける。



<ハッシュタグ>

#協働学習 #ファイル共有 #投稿機能 #一斉指導 #主体的 #特別活動 #中級